

■ 秋田を描いた院展一筋の画人

館岡 栗山

たておか りつざん

出身地 五城目町

1897年（明治30年）～1978年（昭和53年）

秋田の風景、行事、民俗を一貫して描く。独特の速い筆勢による動的画面を展開、その軽妙にして俗気のない人物表現、深い墨色のなかに点じた朱・群青・緑青のさえた色彩に特色がある。代表作に「秋田芸能」などがある。



年譜

- 1897年 五城目町に生まれる。本名・豊治。
- 1911年 秋田県師範学校入学、翌年中退。
- 1933年 「台温泉」が院展に初入選。
- 1937年 「雨後」が院展で横山大観賞を受賞。
その後、安田靫彦に師事する。
- 1951年 地方紙『湖畔時報』を創刊。社主となる。
- 1962年 秋田県文化功労章を受章。
- 1968年 院展の特待に推挙され、無鑑査となる。
- 1978年 八郎潟町で没。81歳。